



## 平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 横浜冷凍株式会社  
 コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 俊雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 岩田 修自  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-326-1010

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	31,744	△7.5	1,104	△28.7	1,147	△28.6	663	△23.1
23年9月期第1四半期	34,317	4.2	1,548	1.9	1,608	4.9	863	8.7

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 598百万円 (65.3%) 23年9月期第1四半期 917百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	12.83	—
23年9月期第1四半期	16.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	99,383	56,642	56.6
23年9月期	93,065	56,562	60.4

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 56,279百万円 23年9月期 56,195百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,435	3.2	2,430	△7.4	2,420	△9.4	1,250	8.7	24.15
通期	126,820	2.2	4,740	13.0	4,730	10.0	2,440	46.2	47.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年9月期1Q	52,450,969 株	23年9月期	52,450,969 株
24年9月期1Q	702,171 株	23年9月期	702,073 株
24年9月期1Q	51,748,833 株	23年9月期1Q	51,749,992 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかに持ち直し回復の動きは持続してはいるが、欧州ソブリン危機等による海外経済の減速や円高の進行、加えてタイの洪水の影響により欧州及びアジア向けの輸出は大幅に落ち込み、また、生産は回復が弱まるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

食品関連業界におきましては、個人消費の底堅さは失われていないものの、所得・雇用環境の改善は鈍く、厳しい状態が続いています。

このような状況のもと当社グループは、第四次中期経営計画「Step Toward the Future」(3ヵ年)を平成23年11月に発表し、事業運営方針の柱である「コア事業の強化」と「成長力の強化」に基づき、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高31,744百万円(前年同期比7.5%減)、営業利益1,104百万円(前年同期比28.7%減)、経常利益1,147百万円(前年同期比28.6%減)、四半期純利益は663百万円(前年同期比23.1%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## (冷蔵倉庫事業)

貨物の荷動きは徐々に回復傾向にある中で、顧客ニーズを的確にとらえた収益重視の集荷活動に取り組み、前期にスクラップ&ビルドにより新設いたしました北港及び鹿児島物流センターも、期初より順調に稼働し業績に寄与しております。

貨物取扱量の状況は、冷凍食品に加え畜産品の取り扱いが増加したことで、前年同期と比べて入庫取扱量は約32千トン、出庫取扱量は約12千トン、平均保管在庫量も2.9%の増加となりました。

その結果、売上高は主に保管料収入及び荷役料収入が伸びたことで増収となり、営業利益は新設物流センターの減価償却負担増等もありましたが、前年同期の水準を維持いたしました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績につきましては、売上高は5,327百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は1,313百万円(前年同期比0.0%減)となりました。

なお、昨年10月にタイで発生しました洪水による連結子会社タイヨコレイ㈱への直接的な被害はなく、新設したワンノイ物流センターも本格稼働しております。

## (食品販売事業)

水産品は、主力商品であるウナギ、秋サケの著しい不漁による漁獲量の減少、及び原発の放射能問題によりサバの輸出入取扱量が減少したことで、減収減益となりました。畜産品については、チキンの国内在庫が過剰な状態が続いたため相場が下落し減収減益となりました。また、農産品は需要が伸びず前年同期を下回りました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高は26,414百万円(前年同期比9.8%減)、営業利益は296百万円(前年同期比56.6%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ6,317百万円増加し、99,383百万円となりました。これは主に商品が6,250百万円、売上債権が1,778百万円増加したことや、現預金が1,129百万円、繰延税金資産が310百万円、有形固定資産が284百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ6,236百万円増加し、42,740百万円となりました。これは主に借入金が8,160百万円増加したことや、賞与引当金が483百万円、未払法人税等が339百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ80百万円増加し、56,642百万円となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ1,129百万円減少の3,434百万円となりました。当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

## ①営業キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,839百万円の資金の減少(前年同四半期は4,052百万円の資金の減少)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益1,231百万円、減価償却費841百万円及び未払費用の増加額462百万円による資金増加と、たな卸資産の増加額6,238百万円、売上債権の増加額1,782百万円及び法人税等の支払額

616百万円などの資金減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,874百万円の資金の減少（前年同四半期は361百万円の資金の減少）となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出1,754百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、7,590百万円の資金の増加（前年同四半期は4,304百万円の資金の増加）となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額8,175百万円による資金の増加と、配当金の支払額517百万円による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期の連結業績予想につきましては、「平成23年9月期 決算短信」（平成23年11月14日付）で公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,563	3,434
受取手形及び売掛金	15,902	17,680
商品	13,985	20,235
繰延税金資産	728	423
その他	568	843
貸倒引当金	△31	△36
流動資産合計	35,716	42,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,778	24,630
機械装置及び運搬具(純額)	4,727	4,869
土地	18,401	18,386
リース資産(純額)	174	207
建設仮勘定	1,280	991
その他(純額)	344	336
有形固定資産合計	49,706	49,421
無形固定資産		
のれん	1,001	963
その他	1,419	1,416
無形固定資産合計	2,420	2,379
投資その他の資産		
投資有価証券	3,775	3,586
長期貸付金	500	69
繰延税金資産	10	4
その他	1,007	1,397
貸倒引当金	△72	△57
投資その他の資産合計	5,222	5,000
固定資産合計	57,349	56,801
資産合計	93,065	99,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,765	6,717
短期借入金	7,335	15,142
1年内返済予定の長期借入金	2,100	2,261
1年内償還予定の社債	140	135
リース債務	52	60
未払法人税等	722	382
賞与引当金	614	130
役員賞与引当金	30	7
その他	4,949	4,039
流動負債合計	22,710	28,877
固定負債		
社債	90	47
長期借入金	12,465	12,657
リース債務	130	156
繰延税金負債	95	15
退職給付引当金	536	551
役員退職慰労引当金	302	259
資産除去債務	105	105
その他	68	70
固定負債合計	13,793	13,862
負債合計	36,503	42,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,065	11,065
資本剰余金	11,109	11,109
利益剰余金	34,897	35,044
自己株式	△520	△520
株主資本合計	56,553	56,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	△134
繰延ヘッジ損益	△224	△81
為替換算調整勘定	△168	△203
その他の包括利益累計額合計	△358	△420
少数株主持分	367	363
純資産合計	56,562	56,642
負債純資産合計	93,065	99,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	34,317	31,744
売上原価	30,862	28,800
売上総利益	3,455	2,943
販売費及び一般管理費	1,906	1,839
営業利益	1,548	1,104
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	16	22
保険配当金	29	28
その他	70	83
営業外収益合計	120	138
営業外費用		
支払利息	50	66
その他	10	29
営業外費用合計	60	95
経常利益	1,608	1,147
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	—
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	1	—
過年度固定資産税還付金	74	84
特別利益合計	76	84
特別損失		
固定資産除売却損	7	—
ゴルフ会員権売却損	2	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	132	—
特別損失合計	141	—
税金等調整前四半期純利益	1,542	1,231
法人税、住民税及び事業税	533	339
法人税等調整額	134	222
法人税等合計	667	561
少数株主損益調整前四半期純利益	875	670
少数株主利益	12	7
四半期純利益	863	663

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	875	670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	△170
繰延ヘッジ損益	△28	146
為替換算調整勘定	13	△48
その他の包括利益合計	42	△72
四半期包括利益	917	598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906	601
少数株主に係る四半期包括利益	11	△2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,542	1,231
減価償却費	718	841
のれん償却額	37	38
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△465	△483
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22	△22
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	26	14
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9	△42
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22	△10
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	132	—
受取利息及び受取配当金	△20	△27
支払利息及び社債利息	50	66
固定資産除売却損益 (△は益)	6	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△1	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,464	△1,782
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,590	△6,238
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,730	△48
未払費用の増減額 (△は減少)	229	462
その他	145	△179
小計	△2,912	△6,180
利息及び配当金の受取額	23	24
利息の支払額	△57	△67
法人税等の支払額	△1,105	△616
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,052	△6,839
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△370	△1,754
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△1	△68
投資有価証券の売却による収入	1	—
貸付けによる支出	—	△1
貸付金の回収による収入	8	18
その他	△0	△69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△361	△1,874
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,400	7,821
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△463	△646
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△518	△517
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
社債の償還による支出	△97	△47
その他	△15	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,304	7,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△106	△1,129
現金及び現金同等物の期首残高	3,877	4,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,771	3,434

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,036	29,272	8	34,317	-	34,317
セグメント間の内部売上高 又は振替高	415	-	12	427	△427	-
計	5,452	29,272	20	34,745	△427	34,317
セグメント利益	1,313	683	7	2,004	△455	1,548

- (注) 1.セグメント利益の調整額△455百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,327	26,414	2	31,744	-	31,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	439	-	12	451	△451	-
計	5,766	26,414	15	32,196	△451	31,744
セグメント利益	1,313	296	4	1,614	△509	1,104

- (注) 1.セグメント利益の調整額△509百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。